

「住民力向上へ向けて、民生委員とタッグを組む」



【現状・課題】

- ・ 独居高齢者が心配で見守りや認知症に関する民生委員からの相談が増えているが、医療受診や介護保険申請へ繋がらないケースが多い
- ・ 民生委員と居宅ケアマネがお互いの役割の理解ができておらず、連携が希薄。

早期発見や重症化防止・自立支援へ向け、**関係機関と民生委員との関係性構築が必要！**

【評価】

- ・ 顔の見える関係性構築が図れ、相談しやすい環境作りへ一役担えた。
- ・ 本人の自立支援へ向けて、あったら良いと思う取り組みや社会資源について意見交換ができた。
- ・ 居宅ケアマネが参加した事により、ケアマネも地域の現状を理解し社会資源開発へ向けた動機づけになった。

【今後に向けて】

- ・ 包括含む関係機関のさらなる周知を地域に対して積極的に行い、民生委員との良好なネットワーク構築を図る。
- ・ 介護保険だけでなく、見守りやインフォーマルサービス等の社会資源の情報収集・活用・新たな開発を図り、地域の困り事や課題に応じた支援体制の確立を目指す。

【取組内容】

民生委員と事例検討会を開催しよう

【事例】ADLは自立しているものの認知症のある独居の女性

包括が事例を作成、8名の居宅ケアマネも参加し民生委員44名と区・予防センター・社協等それぞれがグループに分かれ以下の①～⑤の内容について、グループワークを行い意見を出し合った。

- ①本人の困り事
- ②本人が出来る事
- ③地域や民生委員が出来る事
- ④専門職が出来る事
- ⑤安心して暮らす為に、あったら良いと思う取り組みや社会資源



こんなアイデアができました！

- ・ 事前に他者との関係性構築へ向けた支援を図り、孤立状態を解消する。
- ・ 返答得られやすいように、「大丈夫ですか？」ではなく、「お元気ですか？」等声掛けの工夫をする。
- ・ 町内会の訪問等の直接な見守りのみならず、日常的に電気がついていないか等の確認を心掛ける。
- ・ 認知症の定期健診（健診という表現を用いて認知症の受診を推奨）。
- ・ 鍵を預けておける行政サービス
- ・ 行政と医療が一体化した公の支援組織（役所に相談したり病院に相談したりしなくとも1カ所で済む）。



事例検討会の様子